

一、佛印特定地域ニ於ケル航空基地及港灣施設ノ設定又ハ使用
 二、並ニ之ガ維持ノ爲メ所要機關ノ設置
 三、ハ、帝國軍隊ノ居住・行動ニ關スル特別ナル便宜供與
 四、政戰兩略ノ妙用ヲ期スル爲メ速ニ所要ノ作戰準備ヲ整フルト共ニ
 五、武力行使ノ時機ハ豫メ機ヲ失セズ之ヲ定ム
 六、交渉ノ經過ニ對シ適時威壓ヲ増大シ目的ノ達成ニ努ム
 七、右威壓ノ行動ニ對シ佛印ガ武力ヲ以テ抵抗セバ當該部隊ハ武力ヲ
 八、行使スルモ之ヲ強行ス
 九、佛國カ紛争解決ニ應セサル場合ニハ佛印ニ對シ武力行使ヲ豫定
 十、シ其發動ハ別ニ決定セラレモノトス
 十一、協定締結ヲ拒否スル場合ニ於ケル武力行使ハ豫メ之カ準備ヲ爲
 十二、スモ其ノ發動ハ當時ノ情勢ニ依リ決定ス
 十三、右武力行使ハ佛國ヲシテ我々ニ依リ決定ス
 十四、武力行使後ニ於テモ極力佛印ノ治安維持ヲ政洽經濟等ハ佛印管
 十五、局ヲシテ當ラシムルニ勉ム
 十六、泰ニシテ我々要求ヲ拒否セル場合ニ於テハ日、泰協定ノ内容ヲ變
 十七、更シテハ威壓ヲ加フル等極力我々要求ヲ容認セシムルニ勉メ如何
 十八、ナル場合ニ於テモ泰ヲシテ我々要求ヲ容認セシムルニ勉メ如何
 十九、本施策ニ應スル如ク帝國ノ興隆ヲ統一スルニ努ムルニ勉メ如何
 二十、對象トスル南方問題ヲ激化セシメ無用ノ事ヲ生ズルニ努ムルニ勉メ如何

追テ一月三十日大本營政府連絡懇談會ニ於テ左ノ覺書ヲ決定セ
 リ
 「第二方針ノ二ニ關シ本施策ノ目的達成ハ三、四月頃ヲ目標ト
 シ外交上最善ヲ盡スヘシ」
 (終)